

決算の概要

## 【連結】

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
26年3月期第2四半期	9,180( 8.7%)	127( -%)	81( -%)	18( -%)
25年3月期第2四半期	8,443( 12.0%)	126( -%)	333( -%)	368( -%)

(注) パーセント表示は、対前年同期増減率

## 【個別】

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
26年3月期第2四半期	8,342( 10.3%)	140( -%)	64( -%)	54( -%)
25年3月期第2四半期	7,562( 12.5%)	53( -%)	46( -%)	84( -%)

(注) パーセント表示は、対前年同期増減率

## &lt;主要諸元&gt;

項目	26年3月期 第2四半期	25年3月期 第2四半期
原油CIF価格(ドル/バーレル)	107.7	114.0
為替レート(円/ドル)	99	79
原子力設備利用率(%)	0.0	0.0

販売電力量

(単位：百万kWh)

	特定規模需要以外の需要			特定規模 需要	合計
	電灯	電力	計		
26年3月期 第2四半期	10,819 ( 1.4%)	1,743 ( 6.2%)	12,562 ( 2.1%)	24,140 ( 1.0%)	36,702 ( 1.4%)
25年3月期 第2四半期	10,976 (1.8%)	1,858 (2.2%)	12,834 (1.8%)	24,392 (9.5%)	37,226 (6.7%)

(注) パーセント表示は、対前年同期増減率

## 平成25年度業績予想

平成25年度通期の業績予想については、改定認可時（8月6日）に売上高の見直しをお知らせしておりますが、料金審査の結果等を踏まえ、利益の見直しは未定とし、経営効率化の深掘りや支出抑制・繰延べなど支出面を中心とした見直しを進めてまいりました。今般、支出面の見直しなどについて、現時点において一定の目処がついたことから、最新の収支動向などを踏まえ、利益を含めた通期業績予想について算定しましたのでお知らせいたします。

連結業績予想における売上高は、当社において、電気料金値上げによる収入の増加などから、2兆100億円程度（対前年度比12.1%増）となる見通しであります。

一方、東日本大震災で被災した火力発電所の復旧に伴う減価償却費の増加などがあるものの、燃料費の安価な原町火力発電所の復旧により火力燃料費が抑制されます。

さらには、電気料金値上げの認可における厳しい査定結果や実施時期が当初の予定から2カ月遅れたことなどを踏まえ、経営効率化の徹底・前倒しを推し進めるとともに、安定供給に支障のない範囲で緊急的な支出抑制・繰延べを実施することなどにより経常利益は、160億円程度となる見通しであります。

また、当期純利益については、150億円程度となる見通しであります。

### <平成26年3月期（平成25年度）通期業績予想>

#### 【連結】

（単位：億円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想	20,100			
今回発表予想	20,100	580	160	150
（参考）平成25年3月期	17,926	559	932	1,036

#### 【個別】

（単位：億円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想	18,300			
今回発表予想	18,300	650	250	260
（参考）平成25年3月期	15,919	453	531	591

<主要諸元>

項 目	今 回
販 売 電 力 量 (億 kWh)	776 程度
原 油 C I F 価 格 (ドル/バーレル)	109 程度
為 替 レ ー ト (円/ドル)	99 程度
原子力設備利用率 (%)	0.0

配 当

当社の第 2 四半期決算は、退職給付制度の改定に伴い特別利益を計上したことなどから、四半期純利益は 5.4 億円となりましたが、経常損益は 6.4 億円の損失となりました。また、東日本大震災等により平成 22 年度以降大幅な当期純損失を計上し、財務基盤が著しく毀損しており、その回復を図る必要があります。こうした状況を総合的に勘案した結果、平成 25 年度の間配当につきましては、実施を見送らせていただくことといたしました。

また、平成 25 年度の期末配当予想につきましては、効率化施策の進捗状況や今後の需給状況等を踏まえた通期の業績、原子力発電所の再稼働時期等を踏まえた中長期的な収支見通しおよび東日本大震災等により悪化した財務基盤の今後の状況等を慎重に見極める必要があることなどから、現時点では引き続き未定としております。

以 上